

# 令和5年度大隅地域子ども会育成連絡協議会

## 理事会・総会

- 日 時 令和5年5月13日(土) 16:30~17:30
- 場 所 大隅地域振興局 大会議室(別館2階)
- 出席者 出席者22人 委任状12人

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 協議(議長:副会長)
  - (1) 令和4年度事業報告
  - (2) 令和4年度決算報告及び監査報告
  - (3) 令和5年度事業計画(案)
  - (4) 令和5年度予算(案)
  - (5) 令和5年度役員(案)
  - (6) 令和5年度の各種表彰の推薦(案)
  - (7) その他



全協議題が円滑に話し合われた。  
終了後は、場を替えて数年ぶりの情報交換会が行われ、交流が図られた。

- ア 令和5年度大隅地域子ども会指導者・育成者研修会での事例発表及び表彰
  - イ 各市町子連の子ども会大会・創作活動大会やジュニア・リーダー養成事業への助成金の希望調査
  - ウ 令和5年度九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会(鹿児島開催)
  - エ 令和5年度九州地区子ども会育成研究協議会熊本大会
- 4 閉会のことば

## 指導者・育成者研修会

- 日 時 令和5年7月8日(土) 14:00~16:05
- 場 所 南大隅町役場 大会議室
- 参加者 38人(外 事例発表のみ7人)

- 1 開会のあいさつ(会長)
- 2 団体及び個人表彰等  
山野子ども会(東串良町), 札元1丁目東子ども会育成会(鹿屋市)  
江藤秀樹氏(鹿屋市) [感謝状] 岩水豊氏(曾於市)
- 3 事例発表・質疑応答
  - (1) 事例発表Ⅰ 南大隅町子ども会育成連絡協議会
  - (2) 事例発表Ⅱ 今坂南子ども会(鹿屋市)
  - (3) 質疑応答(意見交換を含む)
- 4 講演 演題:「子どもの目線に合わせての育成者の気付き」  
指導者 南九州市子ども会育成連絡協議会会長 海江田 宗順 氏
- 5 閉会のあいさつ(副会長)



開会のあいさつ



南大隅町子連からジュニア・リーダークラブ「みなみさき」の9月発足が紹介された。

## 指導者・育成者研修会の様子

### ◇ 団体及び個人表彰等（2団体・2個人）

山野子ども会は、「郷土芸能『棒踊り』の継承，キャンプなどの実施による心豊かで，たくましい青少年の育成」が評価された。

札元1丁目東子ども会育成会は、「キャンプ，ハロウィンイベント，クリスマス会等を通して，コロナ禍でも工夫した子どもたちの思い出づくり」が評価された。

江藤秀樹氏は，細山田校区に子ども会を復活させ，長い間育成会長として，子ども主体の子ども会の実現を目指し，定例会活動などを通して活動の充実への尽力」が評価された。

岩水豊氏は，「曾於市・大隅地域の会長，県子連の理事等を長年にわたって歴任され，本協議会の発展充実のために大きく貢献された。」ことにより，感謝状を授与された。



### ◇ 事例発表

#### 【南大隅町子ども会育成連絡協議会】

小規模子連で，会の数や子ども数の減少による活動の維持困難を抱えている。課題解決と魅力ある活動提供のために，「交流大会」「洋上体験活動」など，活性化に向けた取組を行っている。

今後の取組として，イベントちらしの商店街等への掲示，加入促進のために町ホームページ・広報誌の活用など，働き掛けを強めていく。

本年度9月に，町ジュニア・リーダークラブ「みなみさき」の発足を予定しており，自主的な活動が更に向上していく動きが始まっている。

コロナ禍でもできることを考えて活動を続け，地域の方々に協力をいただいていることや新たなジュニア・リーダークラブの立ち上げに，期待と称賛の声が多かった。



#### 【今坂南子ども会（鹿屋市）】

鹿屋市の「わくわくチャレンジお助け金」を活用するために，子どもたちが主体的に話し合い，活動の名称・期日，活動内容について具体化し，決まったことを基に市子連に申請書を提出し，お助け金を受け取る。活動内容は，糸釣りゲーム・輪投げ・射的・ヨーヨー釣り・水鉄砲サバイバルゲームなど，多彩な種目があるので，必要なものを洗い出し，買い物から子どもたち自身で行う。その際，お助け金を活用する。お助け金は，そのほとんどを子どもが主体的に関わっていないと助成されない仕組みで，市子連で審議し，助成額が決定される。

子どもの自主性を尊重していることや計画・活動に称賛の声が挙がり，内容もわくわく感があって，子ども会本来の在り方を目指していることに期待の声が多かった。



### ◇ 講演

コンセンサスゲームを取り入れたグループ協議を行い，合意形成の難しさを実感した。

子育ての課題解決のために子どもの目線に合わせて育成者が気付くことの大切さに言及され，「僻み嫉みは自立性の証」「『だって・・・だもん』を真剣に聴く。」など，大人の先入観を逆転させる捉え方について，深い知恵をいただいた。「子どもの目線，考え方に寄り添って活動していきたい」など，考えの変化を実感された方が多かった。



# 令和5年度大隅地域文化財保護審議会委員連絡協議会総会・研修会

## 〈総会〉

1 日時 令和5年5月29日(月) 10時00分～10時40分

2 場所 錦江町文化センター

3 参加者 54人

4 会次第

(1) 開会のことば

(2) あいさつ

(3) 議長選出

(4) 協議

ア 令和4年度事業報告及び令和4年度決算・監査報告

イ 令和5年度事業計画(案)及び令和5年度予算(案)

ウ 令和5年度役員(案)

エ その他(情報交換を含む)

(5) 閉会のことば



会場内の様子

文化財見回り活動の際、不審人物の誤解を避けるため、大隅地域文化財保護審議会委員を証明するものが必要との意見があった。後日、名札式身分証明書を作成し、各市町へ配布した。

## 〈研修会〉

1 日時 令和5年5月29日(月)  
10時50分～15時00分

2 場所 錦江町文化センター、  
錦江町内

3 参加者 55人

4 会次第

(1) 開会のことば

(2) 研修

ア 全体研修

全体研修での事業内容説明(下写真参照)



志布志市原田古墳群出土品



文化財伝承活動情報提供事業

「文化財保護行政の主要施策と文化財保護審議会委員の役割について」

講師 県教育庁文化財課 文化財主事 眞邊 彩 氏

埋蔵文化財係の業務

文化財主事 阿比留 士朗 氏

- 1 埋蔵文化財の発掘調査、保存・活用
- 2 埋蔵文化財受継思想の普及・啓発
- 3 国交省等開発機関との受託契約事務及び連絡調整
- 4 埋蔵文化財センターとの連絡調整
- 5 (公財)埋蔵文化財調査センターの監理
- 6 史跡等の保存・活用
- 7 埋蔵文化財の鑑賞、展示
- 8 日本遺産に関すること
- 9 民間大規模発掘事業の事前調査
- 10 文化財保護事業(国庫補助・県補助)の連絡調整(史跡・埋蔵文化財)
- 11 埋蔵文化財分布調査の企画調整

大隅地区及び県内文化財(民族芸能を含む)の紹介、文化財の保存と活用に関する施策、「かごしまの文化財を知り、親しむ」事業、文化財保護法に関する情報提供、文化財保存活用地域計画の作成、文化財保護審議会委員の役割についてなど、写真や図も交えて詳細な説明がなされた。

イ 現地研修

山之口祭祀遺跡〔説明のみ〕

①旗山神社 ②田代岩屋 ③花瀬 ④雄川の滝

## 現地研修の様子

現地研修では、錦江町文化財保護審議会委員が研修地ごとに説明を行った。

【町文化センター内での山之口祭祀遺跡説明】  
弥生時代中期後半を中心とした遺跡（出土品が県指定文化財に指定されている。）



### 【旗山神社】

＜説明：長濱委員・加治木委員＞

錦江町池田地区にある旗山神社、旗山神社内にある神木の大楠（推定樹齢800年、町指定文化財）、門前の仁王像（1744年建立）の特徴について説明した。

長濱委員が旗山神社の由来等を含む、全体的な説明をし、加治木委員は、専門分野である天皇について詳しく説明した。



### 【田代岩屋】

＜説明：中原委員＞

錦江町役場田代支所敷地内にある愛宕山の岩屋（町指定文化財）について説明した。田代には中世の遺跡と推定される遺跡が7か所あるとされる。そこには磨崖仏があり、観音像や五輪塔、板碑などである。当時の権力者の墓であった。また、供養の場であったろうと思われる。中原委員（昭和18年生まれ）の記憶では、ここに父子やかんじんさんが住んでいた。思い出話などを交え、岩屋について説明した。



### 【花瀬】

＜説明：中原委員＞

錦江町花瀬地区にある花瀬自然公園（県指定文化財）、お茶亭跡、カワゴロモ（県指定文化財）等について説明した。花瀬の石畳は幅100m、長さ2kmに及ぶ石畳を敷いたよう見え、カルデラ級の大噴火を知る史料である。また、お茶亭跡は、花瀬デバイ等での煮炊き用に使用されたものである。

中原委員が自作の資料等を使い、花瀬デバイやカワゴロモについては、特に詳しく説明した。

展望所から見える滝上段の発電所 ⇨



### 【雄川の滝】

＜説明：中原委員・近川委員＞

錦江町川原地区内にある雄川の滝展望所で説明した。国定公園の雄川の滝は、11万年前の阿多カルデラ（開聞岳）の大爆発に起源を持つ。高さ46m、幅60mのこの滝は南大隅町にあるが、滝の上からの眺望も素晴らしかったため、数年前に展望所が整備された。

# 令和5年度大隅地域社会教育委員連絡協議会総会・研修会

- 1 日時 令和5年6月8日(木) 13:40～16:00
- 2 場所 東串良町総合センター
- 3 出席者 各市町社会教育委員, 各市町教育委員会職員, 大隅教育事務所関係職員, 講師 計44人

## 総会

- (1) 開会のことば
- (2) 開会のあいさつ〔原副会長(南大隅町)〕
- (3) 協議

- ア 令和4年度事業報告
- イ 令和4年度決算・監査報告
- ウ 令和5年度事業計画(案)
- エ 令和5年度予算(案)
- オ 令和5年度役員(案)
- カ その他



円滑に話し合われ、付議された議案については、異議等なく全て承認された。

- (4) 講話「大隅地区社会教育行政の概要について」(大隅教育事務所 東 浩二 指導主事)

社会教育委員に必要な広範な情報を提供された。①各市町社会教育委員の会議の取組(各市町からの報告の抜粋), ②令和4年度「県の社会教育・生涯学習の現状」より～大隅地区の実態(抜粋)～, ③5月12日の「第1回大隅地区社会教育行政研修会」資料への掲載内容より抜粋, ④令和2・3年度県社会教育委員の会議「審議のまとめ」(概要版)から「これからの青少年社会教育施設に求められる役割について」をテーマとした資料の4つを基にして, 社会教育委員を取り巻く現状や課題, 社会教育委員の関わる対象となる広範な社会教育に関する知識, 地域づくり・人づくりにつながる社会教育委員の役割の重要性について説明がなされた。



各市町社会教育委員の会議の現状としては、「教育委員会からの諮問内容を受け、現状と課題、課題の要因・原因、対応策についての協議を行ってきた。」「社会教育行政の現状に対する意見をいただき、事業の改善に生かしている。」「本町の委員は、学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者、家庭教育に関する活動を行う方々に委嘱しており、年齢も高齢者から若者まで幅広く、町行政に関わる役員を兼務されている方もおり、社会教育行政に関しても幅広く、様々な意見等が出された。」などが挙げられた。

一方、課題としては「会議の時間には制約があり、全員の出席が難しい面もある。また、意見を整理して調査研究を進めるために、事前の準備が重要となる。」「高齢化が進み、会員等の数も減少し、後継者問題や活動継続の課題に直面している。」「教育委員会からの諮問がなされていないし、委員の活用の在り方や活動内容も見直していきたい。」「地区を越えての指導や画像等での記録・保管が重要となる。」「1～2年で交代するため、継続的な審議や意見の集約が難しい。」などが挙げられた。

- (5) 閉会のことば

## 研修会

講義・演習「社会教育委員の役割」（県教育庁社会教育課 中村 智子 課長）

### (1) 講義

社会教育や生涯学習の理念を基盤とし、法的な根拠を示しつつ、以下の内容を講義された。

- ア 生涯学習の具体的内容
- イ 社会教育委員の役割
- ウ 社会教育委員制度（住民参加型の行政の仕組み）
- エ 答申・意見を述べるとは・・・
- オ 社会教育行政の役割
- カ 県社会教育委員連絡協議会の役割
- キ 県内の事例
- ク 社会教育委員の心得



### 社会教育委員の心得

- 1 地域の実情・課題に詳しくなりましょう。
- 2 地域の施設や社会教育事業を見て、住民の思いを集めましょう。
- 3 地域づくり、まちづくりの活動、NPOやボランティア団体の活動に参加してみましょう。
- 4 研修会等に参加して、ネットワークを広げましょう。
- 5 社会教育委員同士で、情報交換をしましょう。
- 6 他の委員と協力して、地域の課題と向き合きましょう。
- 7 教育委員会の担当者と思いの疎通を図りましょう。

### (2) 演習（班別の話合い）

#### ① 今、皆さんが地域に関わっておられる

ことは何ですか？また、その中で、課題に感じていることなど

#### ② 【社会教育委員】課題解決のために、社会教育委員として何ができそうか？

【行政職員】「社会教育委員の会議」を今後の社会教育行政のために、どのように生かせるか？

### (3) 感想

#### 【社会教育委員】

- 委嘱を受けてまだ数か月。何ができるのか、考えても分からないところでしたので、役割講義が助かりました。演習を交え、各々の立場での考えを語れたところがよかったです。
- SDGs, ウェルビーイングが最終の目標であるという大変な役割であることを感じた。
- 他市町社会教育委員の考え方や課題解決が見えて、とても勉強になりました。
- 今年初めて社会教育委員に任命いただき、右も左も分からぬ状態で、本日参加をさせていただきました。2年間の任期の中で、私ができうることは何か？少しでも町のために活動することができれば・・・とっております。そのためにも、このような研修会へ参加して、具体的な行動ができるように、心を向けていきたいと思えます。
- 社会教育委員の制度や役割について、とても分かりやすく、御講話いただきました。「ウェルビーイング」について、もっと知りたいと思えました。少子高齢化と各地域での人口減少問題、どうしていけばいいか、難しいなあと改めて感じました。

#### 【行政職員】

- 社会教育とは？社会教育委員の役割とは？という点において、法的な根拠を挙げながら説明をいただき整理することができた。様々な課題について委員と熟議を重ねていきたい。



演習（班別話合い）



演習後の発表

## 令和5年度大隅地域自治公民館等経営研究会「研修会」

- 1 趣 旨 公民館関係者等が一堂に会し、協議及び講演を通して、これからの公民館活動の在り方について研修を深める。
- 2 主 催 大隅教育事務所
- 3 日 時 令和5年7月6日（木）13：30～16：30
- 4 会 場 錦江町文化センター
- 5 参加人数 88人
- 6 研修1

### (1) 事例発表 「地域の特色を生かした公民館活動」

発表者：宿利原地区公民館 主事 牧原 香陽 氏

宿利原地区では、大根・高菜・甘しょ等の農業生産が盛んである。一方で人口372人は20年近く前の旧大根占町・田代町合併時からすると半減し、高齢化率は57%に上る。中学校は15年ほど前錦江中学校に統合し、宿利原小学校は現在全校児童6人(複式学級)となっている。少子高齢化に対応した、地域を元気に住みやすくするための取組の工夫が求められている。

課題に応えるため、将来像の方針を、地域に携わった方々が笑顔あふれる地区となれる「行事中心の活動から地域の福祉・経済に向けた事業へ」と描き、3つの目標①～③を掲げた。

#### ① だれでも、いっでん かつでん へっさといける場所づくり

旧中学校跡地を拠点に、加工品販売所と診療所、消防団詰所を併設し、気軽に地域住民が集える、相談できる場所としている。

#### ② 地域の魅力を発信し稼げるしくみづくり

ウのイベント等とも関連付け、以下の具体策に取り組んでいる。

##### (ア) 地域資源の掘り起こしと活用

##### (イ) 資源・人材等の情報発信

##### (ウ) 農林業・商工業の振興



左・右上はスクールマルシェ 右は合同運動会

鳥獣被害駆除のイノシシのくず肉を使ったペットフード開発、販売はその一例である。

#### ③ 人の交流から生まれる持続可能な魅力づくり

住民一人一人が住みやすい地域づくりを目指す

- ・ 9月 宿利原小学校と地区公民館合同運動会
- ・ 11月 高菜植え付け・収穫、やどりはら秋祭り
- ・ 12月 大根やぐらライトアップイベント



ア大根やぐらイベントライト

冬の風物詩漬物作りの大根やぐらを活用して、光で美しく幻想的に浮かび上がる。

- ・ 12月 やどりはらスクールマルシェ

旧校跡地に店が並び、ケーキ販売、雑貨屋、メダカすくいなどを行う。(上写真)

#### 〈質疑応答〉

公民館主事制度、地域行事への参加人数、イノシシ肉のペットフード開発等(豊かな農村づくり表彰)、人材育成、学校の存続、スクールマルシェ・イベントなど、いろいろな質問が出され、それぞれに回答がなされた。

(2) グループ協議 テーマ：地域の課題解決に向けたこれからの公民館活動

全16班(4~6人)、次の4ステップ(①~④)で話し合いを進めた。

① 地域の課題について考える。〔付せんを書く。〕  
(個人)

② グループで課題を共有する。  
〔仲間分けをする。〕 (グループ)

③ 課題に対する解決策をグループで考える。(グループ)

④ 「今年度取り組みたいこと」を決める。(個人)

人口減少や若い世代の定着など、共通する課題を前にした解決策の取組が話し合われた。



7 研修2〔人権教育ブロック別指導者研修会〕

「誰もが幸せに生きるために～認め合い、支え合う社会をめざして～」

講師：県人権同和対策課 研修専門員 常深 透 氏

**第5章 差別のない社会づくりに向けた取り組み**

県は、あらゆる差別の解消に向けて、県民、事業者と連携協力しながら、差別のない社会づくりの推進に取り組んでまいります。

そのためには、県民一人一人があらゆる差別は許されないという認識の下、

**自分の人権だけではなく、他人の人権について正しく理解し、多様な在り方を認め合うことが大切です。**

○ シンデレラに対して、どのように思いますか。

いじめられているシンデレラは、かわいそう。

**同情心**

○ シンデレラに対して、きつくあたる継母をどう思いますか。

どうして、シンデレラにあんなにきつくあたるんだろう。

**共感力**

**日常のあらゆる面で「人はなぜめぐり逢うのか」を振り返ると**

- ★ 我が家族はもちろん、あなたの周りの人は皆…**必要不可欠な存在**であることに気がされます。
- ★ 長い「人生」の中での偶発的な出会いながらも…**必然的なめぐりあわせ**であるのでは？
- ★ 「人」だからこそできること…お互いを認め、励まし、叱咤激励し、支え合う

**それを「人と人の絆」というのでは…**

人権教育の本質や課題を「同情心から共感力へ」、「だーい好き」など分かりやすい言葉で説明され、部落差別(同和問題)からLGBTQなどに関する最新の人権教育の動向、更には心に問いかける小学生の人権作文の紹介まで、広く・深く啓発される講話がなされた。参加者からも、「楽しく、深く学ぶことができた。」

**私が今からできることは…**

- 身近な存在として認める
- 嘲笑・からかいの表現をしない
- 同調しない注意しあう
- 発信する

**人と人の絆を大切にする第1には**

自分はもちろん、相手のことを「だーい好き!」と感ずることです!

☆だーい好き!の気持ちを込めて「おはよう!」  
 ☆だーい好き!の気持ちを込めて「こんにちは!」  
 ☆だーい好き!の気持ちを込めて「ありがとう!」  
 ☆だーい好き!の気持ちを込めて「すみません!」  
 ☆だーい好き!の気持ちを込めて「ただいま!」  
 ☆だーい好き!の気持ちを込めて「おやすみ!」

などの感想が多く寄せられた。

《感想の一部》

○「自分と同じ人間だと思わなければならない」から「人と自分が違うことを認めること」という気持ちが大きくなった。

○人権感覚を磨く機会となった。人権課題の解決へ向けて、歩みを深めたい。



## 令和5年度 大隅地区教育メディア研修会

※1～9は実施要項

- 1 趣 旨 教育メディアに関する初歩的な知識や技術を修得し、教育活動において効果的に利用できるようにする。
- 2 主 催 大隅地区内の各市町教育委員会 ※大隅地区で合同開催  
大崎町教育委員会（令和5年度担当）
- 3 対 象 者 小，中，高，特別支援学校教職員及び社会教育関係者
- 4 定 員 20人（新規採用教職員の課題研修による受講者を優先します。）
- 5 期 日 令和5年8月4日（金）
- 6 会 場 鹿屋市市民交流センター（リナシティかのや）1階パソコン学習室
- 7 日程及び研修内容

時 間	内 容	
10:00～10:15	受 付	出席確認，資料配布
10:15～10:25	開 講 式	教育委員会
10:25～10:45	講 義 ①	鹿児島県視聴覚ライブラリーについて
10:45～10:50	〈 準 備 〉	
10:50～12:00	講 義 ②	情報モラル教育について
12:00～13:00	〈 昼 食 〉	
13:00～14:00	講義・演習③	遠隔会議システムの活用
14:00～14:10	〈 休 憩 〉	
14:10～14:40	講義・演習④	視聴覚教材の作成① プレゼンテーションソフトを活用した教材作成
14:40～15:40	演 習 ⑤	視聴覚教材の作成② プレゼンテーションソフトを活用した教材作成
15:40～16:00	閉 講 式	

### 8 持参するもの

- 筆記用具，視聴覚教材作成のために必要な教科書，写真，パンフレットなどを準備ください。
- 昼食は各自でお願いします。

### 9 その他

- 研修内容は，指導者の都合等により変更する場合があります。

## 10 講師

かごしま県民大学中央センター 学習情報係 武田 恭輔 指導主事

## 11 参加者

13人・・・受講者10人（教職員7人・市町教委3人）  
事務局1人，大隅教育事務所1人，講師1人

## 12 受講者の感想

- 県には、たくさんの資料があって、校務分掌上利用させていただくことが今後ありそうです。一覧などを見て、どのような資料があるか、調べておこうと思いました。
- 自分が思っている意識と人が思う意識は違うこともあり、SNSなどを利用するときは、よく考えて利用しなければならないと感じました。子どもたちへも年齢に合わせて、教えていかなければならないと思いました。
- いつもTeamsを使っていたが、Zoomの使い方もよく分かったので、使ってみたい。まだ使ったことのない使い方がいろいろとあり、機能をよく知り、活用していきたいと思いました。
- 見え方が違うということで、生徒にもさせてみたいと感じました。
- 実際にビデオ編集をしてみて、下準備の大切さを痛感しました。少しずつ準備をして、生徒が自発的に行動できるような活動的な授業を構築したいと思います。
- 良い企画だと思います。他の方へも広めてもらえたらと思います。
- 情報に関することは、あまり得意じゃないと思っていたけど、分かると楽しさもあるし、情報教育の資料もあると知ったので活用したい。
- 長い1日でしたが、たくさんのことを学べて、充実した学習会でした。子どもたちにも教えつつ、自分も学んでいきたいと思いました。
- 全て学校で生かせることだとか感じたため、夏休みのうちに準備をして良い授業をしていきたいと思います。



グループワーク



作品発表（プレゼンテーション）

# 令和5年度 曾於地区ふるさとを興す組織・教育・食料・環境学習大会、 曾於地区ふるさとを興す保健・福祉学習大会

## 1 趣 旨

コロナ禍の3年間、地域に根差した活動が制限されました。このような中、曾於地区には、地域住民同士の結びつきや助け合いの精神、教育を大事にする伝統があり、人と人とのつながりや共生・協働の心を大切にしたふるさとづくりが推進されていることを再認識しました。

曾於地区地域女性団体連絡協議会では、親や大人が自らの生き方を見つめ直し、知恵を出し合うための組織・教育・食料・環境学習大会及び住民が元気で安心して暮らせるしくみづくりのための保健・福祉学習大会に取り組んでいます。

本大会では、「地域が必要とする、地域になくてはならない組織」としての地域女性団体の役割や組織を見直し、女性の知恵と実践で地域の教育力を向上させ、真に住みよい地域社会を目指す方策について研究討議を行い、相互の研鑽を深める機会とします。

## 2 学習テーマ

「今こそ意識を高め、安心して暮らせる地域社会を目指す」  
～支え合う曾於の絆～

## 3 主 催

鹿児島県地域女性団体連絡協議会 鹿児島県結核成人病予防婦人会  
曾於地区地域女性団体連絡協議会 曾於地区結核成人病予防婦人会

## 共 催

鹿児島県教育委員会 志布志市教育委員会 曾於市教育委員会

## 後 援

志布志市 曾於市 曾於地区教育振興会  
大隅地域振興局保健福祉環境部志布志支所（志布志保健所）

## 4 期 日

令和5年9月13日（水）

## 5 会 場

志布志市文化会館（志布志市志布志町志布志 2238-1）

## 6 参加者

各市町地域女性団体連絡協議会員 各市町結核成人病予防婦人会員 各種女性団体  
校区公民館 P T A会員 学校教育・社会教育関係者 関係行政機関の代表 教育・食料・保健・福祉に関心がある者等

## 7 日 程

- 受 付・・・・・・・・・・・・・・・・13：00～13：30  
(1) アトラクション・・・・・・・・13：20～13：30  
(2) 開会行事・・・・・・・・・・・・13：30～13：45

ア 『婦人会の歌』斉唱

イ 開会のあいさつ

曾於地区地域女性団体連絡協議会長 立岡 怜子  
鹿児島県地域女性団体連絡協議会長 大迫 茂子



## ウ 祝 辞

志布志市教育委員会教育長

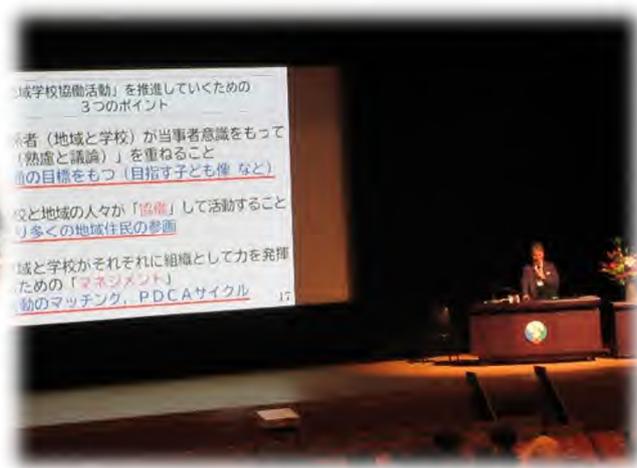
福田 裕生 様

- (3) 講演・・・・・・・・・・13:50～14:30  
演題 「今こそ、がん検診。安心して暮らせるために」  
講師 公益財団法人鹿児島県総合保健センター  
副理事長兼所長 桶谷 薫 先生
- (4) 複十字シール事業説明・・・・・・・・14:30～14:35
- (5) 講演・・・・・・・・・・14:40～15:10  
演題 「今こそ、ダイバーシティ社会へ。」  
講師 志布志市役所コミュニティ推進課ダイバーシティ推進係  
國重 貴仁 係長
- (6) 講演・・・・・・・・・・15:15～15:55  
演題 「地域と学校の協働による子どもの育成」  
～地域の一員としての関わり～  
講師 大隅教育事務所指導課 東 浩二 指導主事
- (7) 閉会のあいさつ・・・・・・・・・・15:55～16:00

※ 当日は、講師の都合により、(2)の後は、(5)⇒(3)⇒(4)⇒(6)の順で行いました。



【桶谷先生講演】



【東先生講演】

### ～ふるさとを興す学習大会を終えて～

コロナ禍で地域に根差した活動が制限され、「今こそ、地域女性団体のあるべき姿を」と位置付け開催しました。当日は、曾於地区の会員はもとより志布志市内の各種団体も含め220の方が集まりました。

講演を受け、「①近年多くなっているがんについて、検診により早期発見につながること、②近年特に聞く『ダイバーシティ』が意味すること、③地域に根差した女性団体の活動についてなど」、今だからこそ考える・考え直すきっかけとなりました。【開催事務局】

## 令和5年度肝属地区地域女性団体連絡協議会

### 役員会・研修会

- 日 時 令和5年5月15日(月) 10:00~11:10
- 場 所 大隅地域振興局 大会議室(別館2階)
- 参加者数 12人(ほか 委任状1人)

《役員会》 10:00~10:30

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

- (1) 令和4年度事業報告
- (2) 令和4年度決算報告及び監査報告
- (3) 令和5年度事業計画(案)
- (4) 令和5年度予算(案)
- (5) 令和5年度役員(案)

(6) その他

- 4 閉会のことば

《研修会》 10:30~11:10

- 1 開会のことば
- 2 協議

令和4年度活動の反省と令和5年度事業計画について(両市町より)

- 3 講話 大隅教育事務所指導課 指導主事 東 浩二
- 4 閉会のことば



10月下旬で提案した研修会は、令和2年度に計画したが実施できなかった垂水市の文化財を中心に、国体前の9月に実施(予備1月)とする方向で意見が一致した。

《講話内容》「まごはやさしい」【ま(豆類)・ご(ごま)・は(わ)(わかめ)・や(野菜類)・さ(魚)・し(しいたけ)・い(いも類)】のバランスの取れた摂取による健康についての話などがあつた。「気持ちは何歳になっても年を取らない。」ということをお心において、挑戦することの大切さを訴えられた。



### 研修会

- 1 趣 旨 鹿屋市・南大隅町の女性団体関係者が一堂に会し、研修や交流を通して視野を広げ、交友を深め、地域の女性活動の活性化を図る。

- 2 期 日 令和5年9月26日(火)

- 3 研修先等 垂水市内史跡等巡り  
和田英作画伯使用の画室 第六垂水丸遭難者慰霊之碑 櫻嶋焼亡塔  
お長屋 人形展示館「有馬亭」(昼食を含む)

- 4 参加人数 30人(鹿屋市17人, 南大隅町9人, 大隅教育事務所2人, 講師2人)

- 5 研修先等の概要

- (1) 和田英作画伯使用の画室

日本を代表する洋画家である和田英作氏は垂水市の出身で、フランス政府の勲章受章、東京美術学校長・帝国芸術院会員などを経て、文化功労者・勲1等瑞宝章大綬を拝受し、85歳でその一生を終えた。



和田英作画伯画室

(2) 第六垂水丸遭難者慰霊之碑

昭和19年、2月6日、9時50分に垂水港を出港した第六垂水丸(122t)は乗客を満載して鹿児島に向かったが、方向転換した際にバランスを崩して転覆・沈没した。日本海難事故史上でも2番目に大きい海難事故となった。現時点で540人の死亡が確認されている。この時は定員340人をはるかに超える732人が乗っていたと言われている。



(3) 櫻嶋焼亡塔(さくらじましょうぼうとう)

安永8(1779)年10月1日、桜島の大噴火によって多くの人々が死傷したため、約2年後、焼死した人々の霊を海淵の浜辺で弔い、当時この地にあった松岳寺(しょうがくじ)に供養塔が建てられた(現在は菅原神社境内)。垂水島津家の家臣、伊地知季度(すえかた)が著した「櫻島燃記(もえき)」とともに、安永噴火の実情を伝える貴重な文化財である。平成29年3月に市の文化財に指定された。



(4) お長屋

垂水小学校は垂水城の跡で、垂水島津家4代島津久信が領主のとき、山城であった古い垂水城から慶長16(1611)年に移転した。当時この辺りは山林や原野であったため、別名、林之城(はやしのじょう)とも言われる。現在は、通り沿いに兵器庫として使用されたというお長屋だけが残っている。400年以上前の貴重な建造物である。平成26年4月に県の文化財に指定された。



(5) 人形展示館「有馬亭」



郷土色豊かなお弁当(昼食)

垂水人形を眺めつつ、八月踊りも鑑賞した。



垂水人形は、文禄慶長の役の際に島津義弘が伴い帰った朝鮮陶工により伝えられたものとされている。こねた粘土を型枠に押し込んで形を作り、乾燥させたあと素焼きして顔料を塗り色付けした素朴な土人形である。江戸期には垂水麓の武士の内職として制作された。明治から大正期には冬季の農閑期を利用して内職として制作されてきたが、昭和に入り次第に廃れ、戦後には途絶えてしまった。制作を続けていた渡辺家などに伝わっていた垂水人形は、平成31年3月、垂水市の文化財に指定された。



「道の駅たるみずはまびら」にて・・・

## 令和5年度 肝属地区広域文化祭

本年度も（昨年度同様）、肝属地区広域文化祭の単独開催ではなく、各地域で開催される文化祭に、他地域の文化協会から団体を派遣し、地域間の交流を図った。

他地域の文化祭に出演した団体からは、「普段とは違う舞台上で緊張はしたが、いい経験ができた。機会があれば、また出演したい。」という声もたくさんいただいた。各市町の文化祭に来場された方々からも、「普段見ることがない団体の演目を鑑賞できてよかった。」等の声が聞かれ、好評を得た。

今後の課題としては、文化祭が11月の第1日曜日に開催される市町が多く、自市町の文化祭の日に、他市町へ団体を派遣することは難しいという市町もあり、全市町の交流を図ることができなかったため、展示作品を他地域に出展するなどして、全市町の交流ができるようしていきたい。

### ○ 各地域の文化祭での出演状況

期日	市町名	場所	派遣市町文化協会	派遣団体
11月3日(金)	錦江町文化祭	錦江町文化センター	輝北町	もびき演歌道
11月3日(金)	串良町文化祭	串良公民館別館	鹿屋市	フォルテシモ
			垂水市	新城神貫太鼓
11月4日(土)	鹿屋市文化祭	鹿屋市文化会館	串良町	みっちゃん一座
			肝付町	高山吹奏楽団
11月5日(日)	吾平町文化祭	吾平振興会館	垂水市	YOSAKOI 社中桜輝楽
11月5日(日)	輝北町文化祭	輝北運動場	錦江町	英流
11月5日(日)	垂水市文化祭	垂水市文化会館	串良町	みっちゃん一座
			南大隅町	南蛮FLAG
11月5日(日)	肝付町文化祭	肝付町文化センター	錦江町	カラオケ同好会

### ○ 出演の様子



輝北町文化祭  
【出演】  
英流  
(錦江町)



錦江町文化祭  
【出演】  
もびき演歌道  
(輝北町)